

## 事前評価個表

事業名	民有林直轄治山事業	事業計画期間	平成30年度～平成39年度(10年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	朝倉 (あさくら) (福岡県)	事業実施主体	九州森林管理局
事業の概要・目的	<p>本地区は、福岡県朝倉市の筑後川流域に位置し、地質は、変成岩類、深成岩類、火山岩類など複雑な構造となっている。</p> <p>平成29年7月九州北部豪雨により、マサ土等の脆弱な地質地帯、凹地形において、24時間降水量が500ミリを超える記録的な豪雨により、多くの山腹斜面が立木とともに崩壊し、大量の土砂と流木が流出し、下流集落に甚大な被害をもたらした。</p> <p>本地区の荒廃地の復旧対策は事業規模が著しく大きく、高度な技術を要することから、福岡県からの要望を踏まえ、平成30年度より民有林直轄治山事業により復旧整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：溪間工 153 基、山腹工 87.8 ha</li> <li>・主な保全対象：人家 753 戸、国道・県道 14,550 m、農地 89 ha</li> <li>・総事業費 7,435,000 (千円)</li> </ul>		
費用便益分析	<p>総 便 益 (B) 24,153,832 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 6,030,455 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 4.01</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	費用便益分析結果及び事業の公益性を総合検討した結果、事業の実施が妥当である。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地や溪床に堆積した不安定土砂や流木を放置すれば、それらの流出により、下流域の保全対象に大きな被害を及ぼすおそれがあることから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地や溪床に堆積した土砂の安定が図られ、植生が回復することにより、不安定土砂の流出を抑制し下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：民有林直轄治山事業

都道府県名：福岡

施行箇所：福岡県朝倉市

(単位：千円)

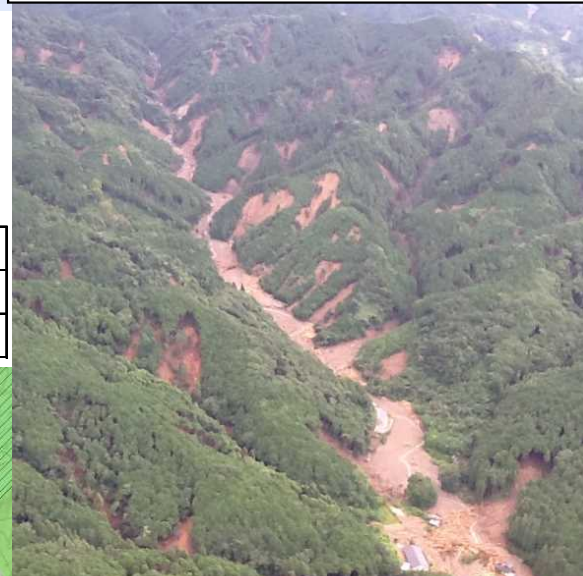
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	461,074	
	流域貯水便益	80,465	
	水質浄化便益	198,080	
災害防止便益	山地災害防止便益	23,414,213	
総 便 益 (B)		24,153,832	
総 費 用 (C)		6,030,455	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,153,832}{6,030,455} = 4.01$		

# 民有林直轄治山事業 朝倉地区(福岡県) 概要図



凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

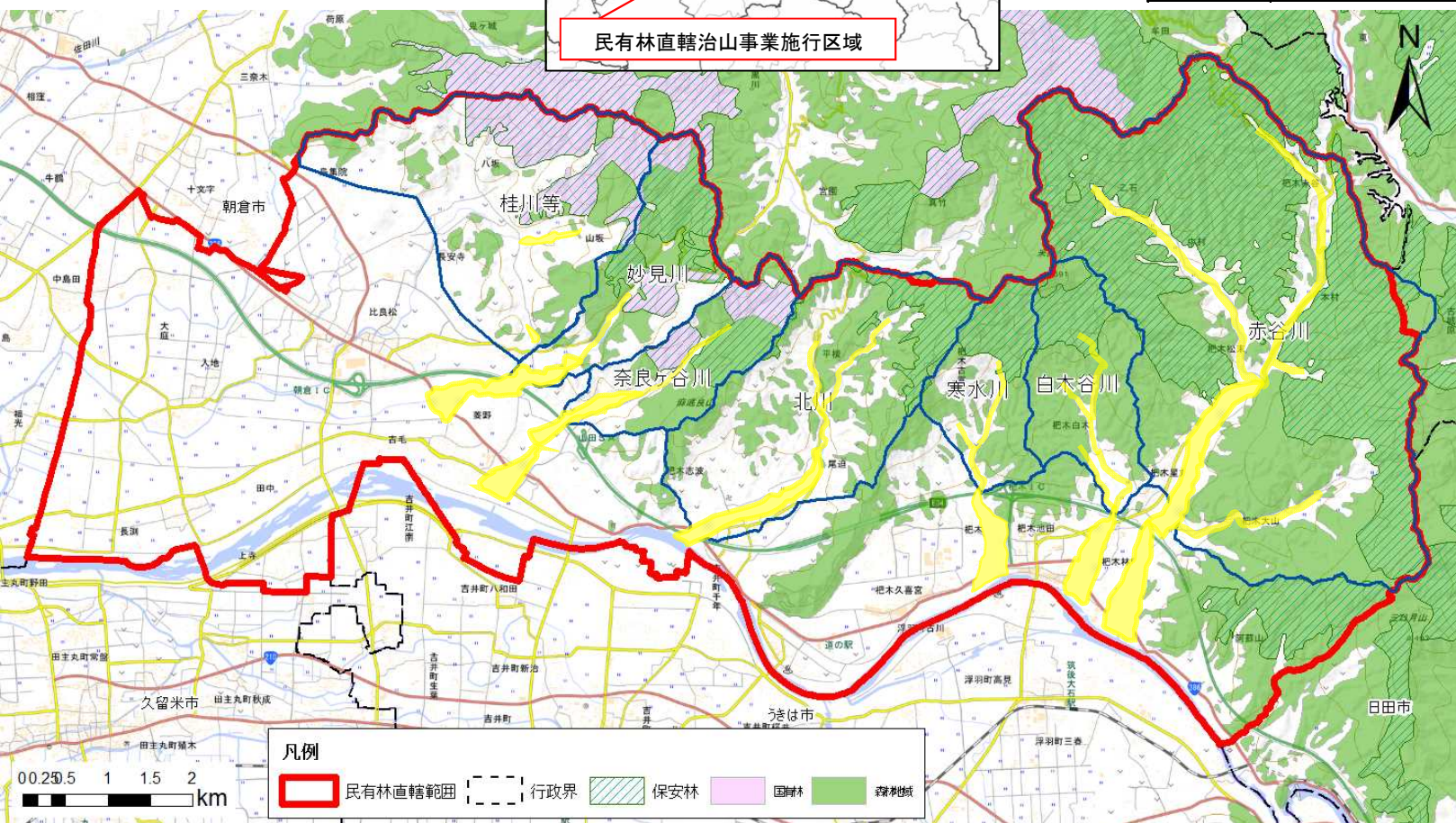
荒廃状況



朝倉市奈良ヶ谷川



朝倉市白木谷川



凡例			
	民有林直轄範圍		行政界
	保安林		国森林
	森林地		